

東海経済レポート

（2018 年 2 月）

～企業部門、家計部門ともに緩やかな拡大が続く～

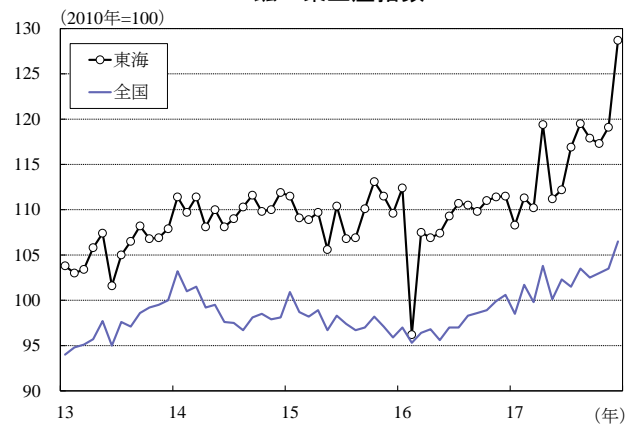
【足元の経済情勢と当面の見通し】

- ◇ 東海経済は緩やかな拡大を続けている。企業部門では、生産がリーマン・ショック前の水準を回復したうえ、輸出も好調を維持。工作機械の国内受注も高水準を維持。家計部門も、良好な雇用環境の下、個人消費が底堅く推移中。
- 生産は、昨年 12 月の鉱工業生産指数が前月比+8.1%と 2 ヶ月連続で上昇し、リーマン・ショック前の水準を回復。当地主力の輸送機械、電子部品・デバイスが揃って現行基準（2008 年 1 月～）での最高値を更新したほか、他の業種も総じて堅調であった。
- 金属工作機械の受注は、当地区主要 8 社の昨年 12 月の国内受注額が前年比+47.6%と 5 ヶ月連続のプラスとなった。受注額はリーマン・ショック以降で 2 番目となる高水準を記録。一般機械工業など主要業種からの受注が堅調。
- 輸出額（円ベース）は、1 月に前年比+13.7%と 12 ヶ月連続で増加。相手国別では、中国向けが 12 ヶ月連続、EU 向けが 7 ヶ月連続で、それぞれ同 2 桁の伸びとなったほか、米国向けも 12 ヶ月連続プラスと増勢を維持。品目別では、自動車、電気機器、一般機械がいずれも同 2 桁増となったほか、自動車部品も 2 ヶ月ぶりにプラス転化。
- 労働市場では需給の引き締まった状況が継続。昨年 12 月の有効求人倍率は、岐阜県が 1.92 倍と 1992 年 9 月以来の高水準に上昇したほか、愛知県も 1.88 倍とリーマン・ショック後の最高水準を更新。三重県は 1.67 倍とバブル崩壊後の最高水準域で推移。
- 個人消費は、昨年 12 月の小売主要 3 業態の販売が前年比+0.9%と 2 ヶ月連続の増加。業態別では、百貨店が 2 ヶ月ぶりの前年比マイナスとなったものの、スーパーが 2 ヶ月連続プラス、コンビニエンスストアも 3 ヶ月ぶりのプラスとなり、全体で前年比増となった。また、昨年 12 月の新車販売台数は同+3.6%と、2 ヶ月連続のプラスとなった。
- 住宅着工は、昨年 12 月に年率換算で 7.8 万戸、前年比+1.9%と 2 ヶ月連続でプラス。分譲マンションと貸家がマイナスとなったものの、戸建て分譲の増加に加え、持家も 6 ヶ月ぶりに前年比増となり、全体でプラスを維持。

【生産①】

昨年 12 月の鉱工業生産指数は前月比+8.1%。リーマン・ショック前の水準を回復。

鉱工業生産指数



(注)『東海』は愛知、岐阜、三重の3県。
(資料)中部経済産業局統計等より三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

【生産②】

業種別では、主力の輸送機械、電子部品・デバイスが揃って現行基準（2008年～）での最高値を更新。

業種別の鉱工業生産（東海）

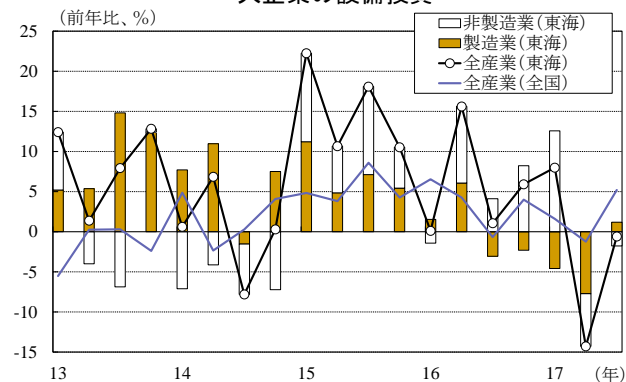


(注)1.『東海』は愛知、岐阜、三重の3県。
2.()内の数値は、業種毎の付加価値額の比率(平成22年基準)。
中部経済産業局算出
(資料)中部経済産業局統計より三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

【設備投資】

昨年 7-9 月期の大企業の設備投資は前年比▲0.6%のマイナス。[10-12月期分は3月公表予定]

大企業の設備投資

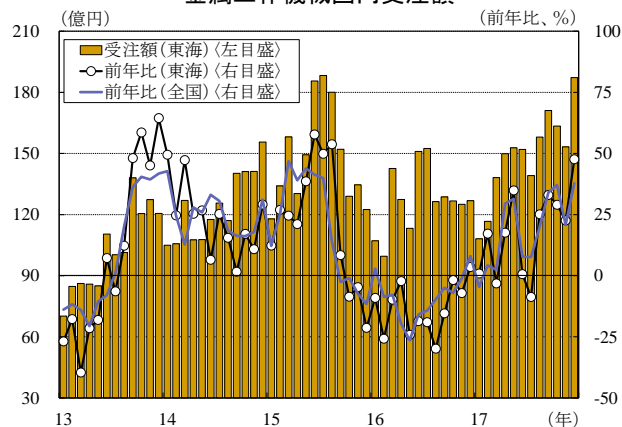


(注)1.『東海』は愛知、岐阜、静岡、三重の4県。
2.資本金10億円以上の企業を対象。
3.設備投資額はソフトウェアへの投資を除いた金額。
(資料)東海財務局統計より三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

【金属工作機械受注（国内）】

金属工作機械の国内受注額は昨年 12 月に前年比+47.6%と、5ヵ月連続のプラス。

金属工作機械国内受注額

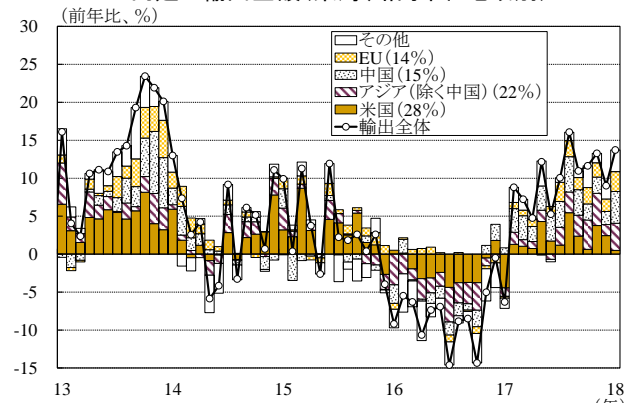


(注)『東海』は中部経済産業局管内の主要8社。
(資料)中部経済産業局統計等より三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

【輸出】

1 月の輸出額（円ベース）は前年比+13.7%と、12ヵ月連続で増加。主要相手国向けが増勢を維持。

円建て輸出金額（東海、相手国・地域別）

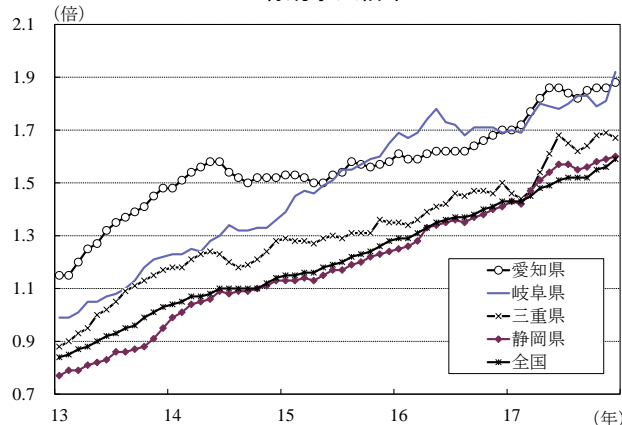


(注)1.『東海』は名古屋税関管内(愛知、岐阜、三重、静岡、長野)。
2.()内の数値は2017年輸出総額に占めるシェア。
(資料)名古屋税関統計より三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

【雇用】

昨年 12 月の有効求人倍率は岐阜県が 1.92 倍と 1992 年 9 月以来の高水準に上昇。

有効求人倍率

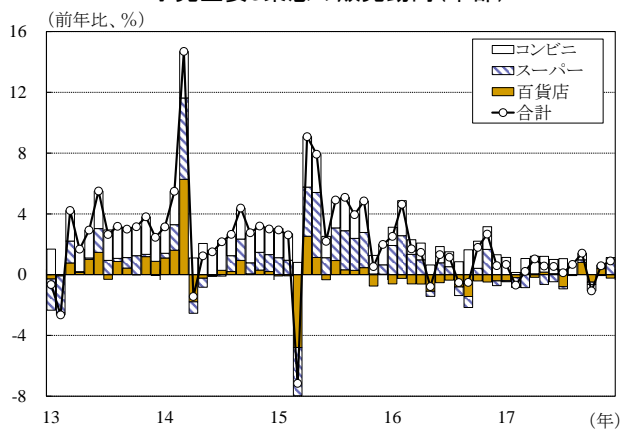


(資料)厚生労働省統計より三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

【個人消費】

昨年 12 月の小売主要 3 業態の販売は前年比+0.9%と 2 カ月連続の増加。コンビニが 3 カ月ぶりに増加。

小売主要3業態の販売動向(中部)

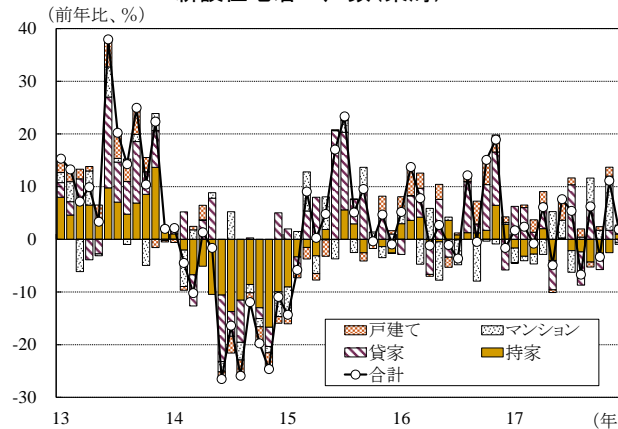


(注)『中部』は愛知、岐阜、三重、富山、石川の5県。
(資料)中部経済産業局統計等より三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

【住宅投資】

昨年 12 月の住宅着工戸数は年率換算で 7.8 万戸、前年比+1.9%。持家が 6 カ月ぶりに増加。

新設住宅着工戸数(東海)

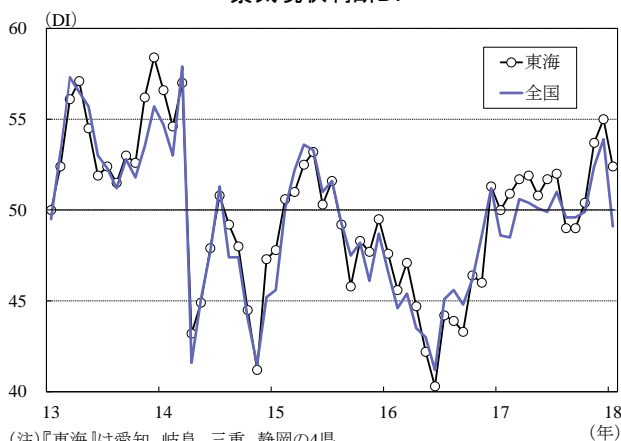


(注)『東海』は愛知、岐阜、三重の3県。
(資料)国土交通省東海より三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

【景気ウォッチャー調査】

1 月の景気現状判断 DI は 52.4 と 5 カ月ぶりに低下。ただ、4 カ月連続で全国を上回る水準を維持。

景気現状判断DI

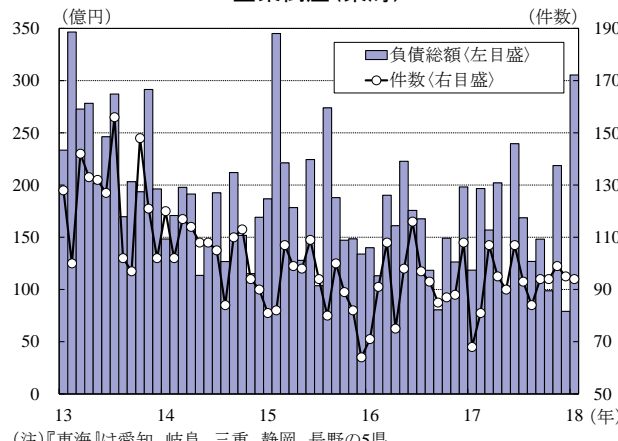


(注)『東海』は愛知、岐阜、三重、静岡の4県。
(資料)内閣府資料より三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

【倒産件数】

1 月の企業倒産件数は 94 件で、前年比+38.2%の増加。負債総額は 305 億円で同+157.6%の増加。

企業倒産(東海)



(注)『東海』は愛知、岐阜、三重、静岡、長野の5県。
(資料)東京商工リサーチ資料より三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

【原油価格】

WTI 先物は、シェールオイルの増産観測や投資家のリスク回避姿勢等を受け、やや軟化。

原油価格

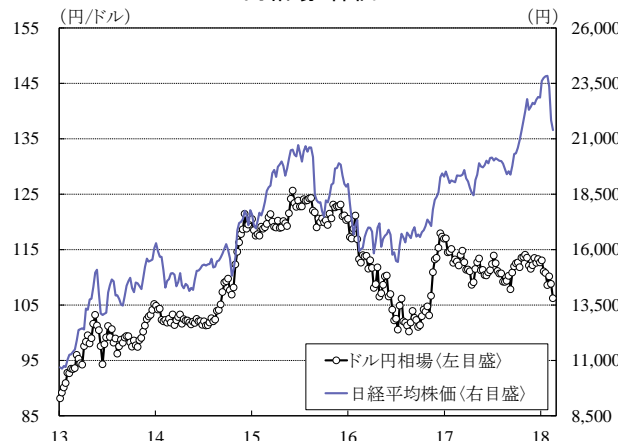


(注)『原油価格』はWTI先物。
(資料)Bloombergより三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

【円相場・株価】

円相場は、世界的なリスク回避の動きの中で円高に振れ、株価もいったん下落。

円相場・株価



(資料)Bloombergより三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

照会先：三菱東京 UFJ 銀行 経済調査室（名古屋）

中村 健彦 takehiko_nakamura@mufg.jp

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、金融商品の販売や投資など何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。当資料は信頼できるとされる情報に基づいて作成されていますが、当室はその正確性を保証するものではありません。内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されております。全文または一部を転載する場合は出所を明記してください。また、当資料全文は、弊行ホームページでもご覧いただけます。